

助成企業

《6》

超硬合金や焼結ダイヤモンドなどに穴を開けた特殊な金型「ダイヤモンド」。線のように金属を伸ばす(伸線)ため

に用いる。その研磨加工などを手がける全国的にも珍しい会社。高度な技術が必要で新規

をダイヤモンドの粉などで鏡の面のように研磨し、伸線の際の摩擦をなくす。

鉄線や針金、ワイヤ

などダイヤモンドで伸線した線材は自動車、建設などあらゆる産業で利用されている。「摩耗で

ダイヤモンドに定期的な補修が必要なこと、競合が少ないことなどが安定した取引関係を維持している要因」

やパソコンなどIT関連部品に至るまで、プラスチック製品の大半が射出成形機という機械で作られる。溶かした原料を金型に流し込むノズル部分に傷や凹凸があると、異物が混入する恐れがあるため完璧な研磨が要求される。そこで、ダイヤモンドの鏡面研磨技術が生きる。

泉ダイス

磨き技術武器に新事業

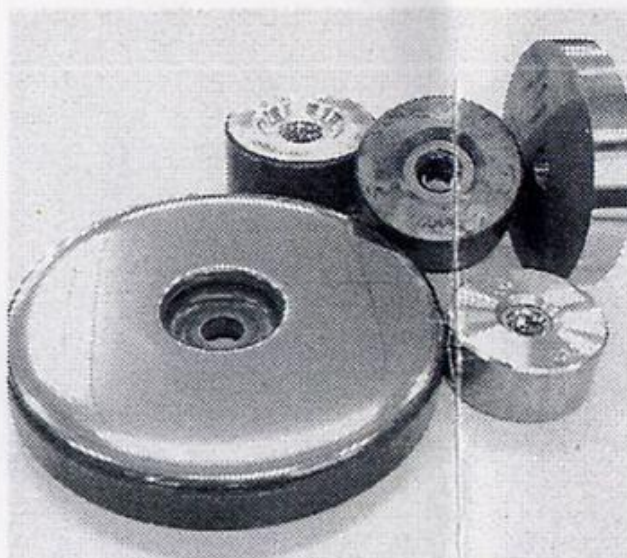


黒川賢二社長

参加が難しく中国地方では同業は二、三社。

「磨き屋」を自認する

黒川賢二社長。要望に応じ、形(丸やクロ一バー、六角)や穴径などさまざまなダイヤモンド



鏡面研磨された種々のダイヤモンド

「培った技術力で、他社がやれたがらない仕事、やることのできない仕事にチャレンジしたい」と意欲を見せる。

〈金属加工業。超硬合金・ダイヤモンドダイス、射出成形機精密部品などの研磨加工。1972年(昭和47)創業。2000年に有限会社設立。資本金300万円。従業員15人。熊毛郡田布施町麻郷554の14〉